

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結） 平成 17 年 8 月 8 日

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド （コード 3205 東証第 1 部 名証）

（URL <http://www.daidoh-limited.com/>）

代 表 者 取締役社長 武井 勇

問合せ先責任者 経営管理室長 和賀 勇 （TEL (03) 3257 - 5022）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

（1）売上高

（注）百万円未満は切捨てて表示しております。

	百万円	%
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	7,757	4.6
平成 17 年 3 月期第 1 四半期	7,416	1.3
（参考）平成 17 年 3 月期	30,437	

（注）1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

[売上高に関する補足説明]

売上高の増加の主な要因は、前連結会計年度において中国の連結子会社の決算日における財務諸表により連結することとしたため（前連結会計年度は、9 ヶ月）であります。各事業セグメントにおける概況は、以下の通りです。

衣料原料事業におきましては、市場はいまだに非常に厳しい状況が続いておりますが、ほぼ前年と同水準の売上高を確保できました。

衣料製品事業におきましては、販売の効率化を進め、より一層顧客に密着したきめ細かい対応を図ってまいりました。ニューヨーカーはメンズ（前年同期比 21 百万円増）・レディース（前年同期比 136 百万円増）と共に順調に推移し、当該第一四半期におきましては昨年を上回ることができました。また、上海ニューヨーカーの店舗増加にともなう売上高増加（55 百万円）も寄与しております。

ジャルダン株式会社は、不採算店舗の退店・取引形態の見直し等を昨年から引き続き進めており、売上高につきましては、昨年同期比大幅に減少いたしました。

不動産賃貸等事業は、シネマコンプレックスの効果もあり顧客動員も順調に推移しており賃貸売上高も大きな変動はありません。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態および経営成績に重要な影響を与えた事象
該当する事象は発生しておりません。

3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株あたり予 想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	14,800	380	1,050	
通 期	31,100	2,100	160	4 08

業績の変動につきましては、平成 17 年 8 月 8 日の開示資料「平成 18 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(参考) 平成 18 年 3 月期の個別業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株あたり予 想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	2,500	1,100	160	
通 期	5,100	2,000	610	15 57

(注) 業績予想には、本資料の発表日現在の将来に対する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。

経済状況・競合状況・為替の変動等に関わる不確定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。